

# な か ま

福岡県知的障害者施設保護者会連合会 会報

発行  
福岡県知的障害者  
施設保護者会連合会  
(略称：福施連)

編集  
広報委員会

〒812-0854  
福岡市博多区東月隈  
3-1-4-106  
☎/FAX (092) 503-0579

命ある限り

障害者サービスを！

介護保険との統合は支援の低下

今回の研修会は、聞こえてくる福祉政策の『我が事・丸ごと地域共生社会の実現』とは、我が子らの暮らしとどう関係し、それぞれの保護者

会活動はどうあるべきかなどを研修することにして、全施連の由岐理事長を講師にお招きしました。

そのため、外部関係団体には案内せず、福岡県知的障がい者福祉協会の木高会長だけにご参加をお願い、

参加者との意見交換と質疑時間を増やすことで、開催されました。

由岐理事長の講演内容の要旨は次のとおりです。(資料参照)

何故介護保険法改正ではないのか

今回の法改正が「地域包括ケアシステム強化」法案で「介護保険法改正」にしなかったのは、増え続ける

社会保障費予算を削減・抑制することが根本にあります。

障害者総合支援法・児童福祉法・社会福祉法など30以上の法律が一括法案として提案されています。



この改正法で障害者入所施設が具体的に変わるとすれば、認知症老人や、障害をもつ児童、身体・精神障害者等も入所できる丸ごと施設となり、知的障害者もこれから2割負担になるかもしれない介護保険利用者へと導き、安上がりの福祉にする狙いがあると思われまます。

その入り口が65歳問題であることを確認し、私達の願う看取り問題も、諦めず実現へ向けて粘り強く活動しなければと考えています。

今私達がやるべきことは、家族と共に終の住処づくりの当事者と考える施設側と、対等に向き合い施設利用者の人権と暮らしの向上を協議し、実現させていく力量をつけることです。以上がお話の要旨でした。

休憩後に、由岐理事長の一人息子さんが利用されている施設は、以前は不正事件でマスコミに報道されたが、家族会で数多く協議する内に改善されたとの話は印象的でした。

質疑時間不足でしたが無事終了しました。

質疑時間不足でしたが無事終了しました。

質疑時間不足でしたが無事終了しました。

質疑時間不足でしたが無事終了しました。

質疑時間不足でしたが無事終了しました。

質疑時間不足でしたが無事終了しました。

# 理事会開催 (29年度第2・3回)

## PTカンパ報告・会費値上げなど討議

平成29年度第2回理事会が平成29年11月12日福施連クローバープラザにて開催されました。

開会はじめに11月1日に亡くなられた井本前副会長に感謝と冥福の黙祷を捧げて進められました。

全施連秋田大会や研修会のアンケート集計結果・みろく園保護者会への加入お勧め訪問結果などの報告もありました。

全施連本部から求められたPT会議費カンパ額が29万5千5百円になりもう少し増える見込みであること。また、各行政への意見交換の申し入れ活動などの報告も承認して終了しました。

平成29年度第3回理事会は、平成30年3月25日午後1時半から同じクローバープラザで開催されました。直近情勢では、揺れ動く政局でも福祉の見直しは厳しく、息長い活動

の必要性が語られました。

概算決算報告では現在の会費での運営は厳しく、二年先に500円値上げが提案され「反対・やむを得ない」などの意見が出されました。この件は、各組織でじっくり検討する事になりました。

月割りにすれば42円の値上げだからやろうとの意見もありました。

### 公明党

### 国・県議と意見交換

平成30年1月16日、県庁議会棟会議室において公明党主催の懇談会が開催されました。

公明党からは河野参議院議員、田中・新開県議会議員が出席し、社会福祉法人太宰府福祉会草本理事長・栄光福祉会栄光園樋口理事長・白糸農園藤田施設長他に6名の福祉関係

団体・施設経営者の出席もあり、福施連から八木会長・奥副会長が参加しました。

八木会長は意見を求められて、65歳問題や介護保険との併設は知的障

### 施設保護者会紹介

### 千代の里

千代の里は朝倉郡にある開所20年を迎えた定員30名の施設です。

保護者会は、訓練活動である手芸部のお手伝いや、年に一度の文化祭への参加などを行っています。

また、近くの保護者は、施設内の作業にお手伝い活動もしています。



たのしいクリスマス

害者にとっては不適切と思われるので反対・他請願4項目の要望等について発言しました。参加者の皆様とは名刺交換をして散会となりました。

文化祭では、ぜんざい300食を無料で振舞ったり、不用品バザーを行ったりして、利用者や地域の方に大変喜んでいただいています。

施設の敷地に田んぼを買いたい、バスが欲しいなどの要望があるため、保護者会で協力金の積み立ても行っていきます。福施連の活動には必ず出席するよう努力しています。

「みんなで千代の里を応援しよう」の合言葉に熱意を込めて保護者一同心を合わせて活動しています。

### 記事訂正

昨年4月15日発行の「なかま」18号の福施連役員紹介に会計の坂井和希氏(板屋学園保護者会会長)が漏れていました。

なお、坂井氏は行政対策副委員長 の役も兼務です。お詫びして訂正します。

# 北九州市福祉課長と

## ＝意見交換しました＝

平成30年1月16日  
北九州市障害福祉課と  
意見交換を行いました。

市からは西尾課長、樋口係長が出席され、福祉連からは八木会長、奥副会長他4施設8名が参加しました。

今回は、平成28年に開催された第12回全施連全国大会福岡での大会決議9項目について行政の対応方を基本的に求めました。

西尾課長は、北九州市で解決できる問題ではないとしながらも要望項目に一応の理解を示しました。

### PT会議費用カンパ

#### ありがとうございます



昨年の理事会で要請があった「PT会議開催費用カンパ」が、保護者会各位のご協力で32万2千5百円の金額が寄せられました。

全国集計は目標の5百万円に近づいていますが、まだご提出がない保護者会はご協力頂ければ幸いです。

1回目は1月15・16日福岡市で、2回目は3月12・13日大阪市で開催されました。

メンバーは、正副理事長、秋田県の桜田氏・書記に愛知県連会長山本氏と北九州大学小賀教授、埼玉大学宗澤准教授です。

## 全施連理事会

### 厳しい財政見直しは？

平成30年3月12・13日大阪ガーデンパレスホテルで全施連理事会が開催され、福祉連から八木会長・田中副会長が出席しました。

由岐理事長は開会挨拶のなかでPT会議費用カンパ5百万円をお願いしたところ、目標が達成されそうだと感謝の言葉がありました。

南副理事長から福祉を巡る直近の情勢報告がありました。介護保険施設と障害者施設の併設問題は、

双方の建物や報酬・人員配置など基準の違いが多々あり、その整備作業で3年後ぐらいになるだろうとのことでした。

重要な議題は、全施連の財政がそのままでは破綻し必要な活動ができなくなる恐れがあるため、会費値上げの提案がありました。次回の理事会まで継続審議になりました。

また4ブロック制で活動分担する運営方針は問題が多く、正副理事長会議、常任委員会、理事会の指導体制にする事が全員一致で決まりました。

## 研修会アンケートに

### 意見いろいろ

2月4日の福祉連研修会では、久しぶりの由岐理事長の講演と質疑時間を長く設定したこともあって、会場からの発言も多く、終了時間が残念に思われる会場の空気でした。

参加者から寄せられたアンケートに書き込みが多く内容も会場の空気が表れて次回研修会の在り方も考えさせられるものでした。

## アンケートから

▼政府・自民党の考える福祉情勢を保護者はどうとらえたいのか？

それがわかれば怒りが沸いてくると思います。安倍政権の詭弁に惑わされている現状を打破しなければと感じました。▼木高さんの話は身近でよかったです。▼由岐理事長のお話が具体的によく理解できた。続けて家族会の在り方を考えさせられ、

今までの研修会で一番参考になりました。▼由岐理事長のお話が勉強になりました。年一回ぐらいは是非理事長の講義を受けたいです。▼地域

共生社会をわかりやすく説明して頂ければと思います。▼共生型サービス事業所でどのような看取りが出来るか？▼法人内に老人ホームが在ることについてどんな問題があるか知りたいです。▼今願っていますけど囑託医の問題をもっと勉強が必要。今第一番は看取りの件で話し合いを

考えている。▼話がとびとびでまとめようがなかった。楠会としての例は良かったと思います。

# 新たな夜明け

そして今

## 福祉協会研修会

平成30年2月29・30日に日本的障害者福祉協会主催の第6回障害者支援施設部会全国大会が高知市で開催されました。

四国地区知的障害者福祉協会の障害者支援部会長と政策委員であり、高知県福祉協会人権倫理委員会委員長・高知市小鳩会理事長・あじさい園管理者である全施連南副理事長がこの大会の実行委員長として開会宣言を行いました。

会場の高知県立県民文化ホールには、全国から知的障害者施設の理事長や施設長・幹部職員らしき人たちが満員状態でした。

始めに日本知的障害者福祉協会橘文也会長の主催者挨拶、尾崎正直高知県知事と岡崎誠也高知市長の祝辞のあと、厚生労働省社会援護局障害福祉課障害福祉専門官吉野智氏の講演がありました。

午後は、全施連顧問の埼玉大学宗澤准教授が、「社会福祉基礎構造改革と障害者権利条約から私達の課題を考える」と題して障害者福祉制度の変遷を詳しく語られました。

今回の改革は、これまでの日本の福祉を根本から砕く大変な内容で、皆さんの踏ん張りが求められていると激励されました。

休憩後からは、全施連顧問の北九州大学小賀教授が、「今、求められている知的障害者施設」人を人として大切にするために」と題して北欧のデンマークやスウェーデンの知的障害者福祉の現状を、スクリーンに映しながら、日本の障害者福祉の遅れを説明されました。

この大会が全施連の今後の進路に深く関わるとして八木会長・奥副会長は保護者会費で参加、他に宮城県施連大野会長と役員お二人の参加もありました。



## 全施連幹部研修会

### 伊藤教授熱く語る

平成30年1月27日神戸市内の全施連本部がある兵庫県立総合福祉会館会議室にて、初めて全施連幹部研修会が開催されました。

講師は全施連顧問である鹿児島大学の伊藤教授で、会場には兵庫県施連(ひょうごかぞくねっと)の方々も大勢参加されていました。

伊藤教授は平成29年5月「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」が成立し、福祉政策が根本からの改

悪に動き始めていることについて説明されました。福祉連から八木・奥が参加しました。

### 編集後記

今、国会が騒然としています。福祉情勢も大揺れ大改革の動きの中で、画期的ニュースもあります。

岡山市の浅田さんが65歳で障害者サービスマッチングを、違法と裁判を起こしていましたが、浅田さんの主張を認める勝利の判決が出ました。

全国で障害者団体が岡山市へ控訴しないよう応援の声をあげています。障害者は、死ぬまで障害者サービスを受ける権利があり、質・量とも劣る介護保険へ移行させられることには異議があります。

制度の見直しは、社会的弱者の暮らしが、より安心の方向にこそ実施して欲しいものです。

一つ一つの成果を積み上げ、厳しい運動のなかに喜びや楽しみもあることを発見しながら、家族やなまど前へ進む福祉連でありたい!

## 第14回全施連全国大会inひょうご

テーマ 今から始める第一歩  
～福祉の後退を許さない～

日時 平成30年10月23日(火)～24日(水)

場所 神戸市垂水区東舞子町18-11

シーサイドホテル舞子ピア神戸

大会参加費 6000円

情報交換会費 7000円